

有事に備えて 消防総合訓練大会

北海道消防協会上川地方支部富良野地区分会の主催による第36回富良野地区消防総合訓練大会が6月25日、幾寅小学校グラウンドを会場に開催されました。

この総合訓練大会は、富良野沿線の消防関係者が一堂に会し、消防機械器具の取扱いの習熟と広く消防技術を公開し、消防職員と消

防団員の士気高揚を図り、団結をもって有事に対処することを目的として、毎年沿線各市町村の持ち回りにより開催されています。

大会には、富良野沿線の消防団員と消防職員、陸上自衛隊上富良野駐屯地の隊員など併せて265名と車両15台が参加しました。

開会式の後、5市町村の消防団員による小隊訓練と消防操法応用訓練が行われ、出場した団員の皆さんは指揮者の号令に従い機敏な行動をとっていました。

模擬火災訓練では、3階建ての公営住宅幾寅西A団地から出火したことを想定して行われ、本町では初めて披露された屈折はしご車をはじめ、救助工作車などが出動し、屋上などに避難した住人を救出したほか、各消防団による放水など、日頃の訓練成果と迅速な機動力を展開し、多くの来賓や見学していた町民の皆さんは、固唾をのんで見守っ

ていました。

水防訓練では、集中豪雨により町内を流れる空知川に氾濫の恐れがあることを想定して、北海道開発局の災害対策用ヘリコプターが会場上空を旋回し、氾濫状況を演習本部に無線で下し、南富良野消防団員と陸上自衛隊上富良野駐屯地第4特科群第131特科大隊の隊員による土の積みが行われ、堤防の決壊を防ぐため、手際よく土のうが積み上げられました。

空知川の中洲に取り残された方が救助を求めていることを想定した訓練では、陸上自衛隊北部方面航空隊のヘリコプターによる孤立者救助訓練も行われました。

私たちの生命と財産を守る最前線で活躍する消防職員や消防団員の、本番さながらの大規模な訓練に必死に取り組む姿に、出席した多くの来賓や見学していた町民の皆さんからは、大きな拍手が贈られました。



模擬火災訓練
(屈折はしご車による救助訓練)



水防訓練
(自衛隊ヘリコプターによる救助訓練)



模擬火災訓練
(救助工作車による救助訓練)

小隊訓練 (南富良野消防団)



水防訓練・月の輪工法
(陸上自衛隊上富良野駐屯地第4特科群第131特科大隊)



消防操法応用訓練



水防訓練・積み土のう工法
(南富良野消防団)

札幌南ふらの会総会

札幌市や札幌生活圏に在住する方々により結成されているふるさと会「札幌南ふらの会」の平成18年度総会が7月4日、札幌市内のホテルポールスター札幌で行われました。

総会には、38名の会員が出席し、山名会長および池部町長の挨拶の後、平成17年度事業報告と決算報告を承認、平成18年度事業計画と予算などが採択されました。

また、総会の中で山名会長から、札幌南ふらの会が設立して16年が経過し、ふるさとへの恩返しとして、町に対して寄付を行いたいとの話があり、総会に出席した会員の皆さんに対し協



山名会長

力を呼びかけました。

総会終了後は、来賓や地元からの参加者を含む50名が集い懇親会が開催されました。新田町議会議長の乾杯により始まった懇親会では、本町で栽培されたメロイヤモチ米、グリーンアスパラなどが当たるお楽しみ抽選会が行われ、久しぶりの再会で近況報告や昔話に花を咲かせながら、楽しい時を過ごしていました。



総会

一〇三柱の英霊の冥福を祈る 戦没者追悼式

先の大戦から61年目を迎え、戦没者一〇三柱の霊を慰めるため、町社会福祉協議会主催による「戦没者追悼式」が7月7日、来賓や遺族の方々77名が参列する中、総合福祉センターでおごそかに執り行われました。

午前10時、サイレン吹鳴とともに参列者全員で黙禱を捧げたあと、曾慶一介会長が、「61年前の悲惨な状況を忘れることなく、二度と悲しみの歴史を繰り返さないことを誓います。」と式辞を述べ、来賓からの追悼の言葉に続いて、参列者が一人ずつ白菊を供え、尊い犠牲者の冥福を祈りました。

なお、追悼式の挙行にあたり次の方々からご厚志や供物が寄せられました。紙上をもって厚くお礼申し上げます。

- 軍恩連盟南富良野支部 様
- 上川支庁地区連合遺族会 様
- 南富良野町遺族会 様
- 南富良野町鉱業振興会 様
- ふらの農業協同組合 様
- JAふらの南富良野支所女性部 様
- 幾寅婦人会 様
- 町立歯科診療所 様
- けん三のこば館クリニック 様
- ㈱ソケイズ 様
- ㈱永井工務店 様
- 小松建設工業㈱ 様
- ㈱高橋商会 様

- 北海道 様
- 南富良野町 様
- 南富良野町議会 様



献花を供える参列者の皆さん